

起業家ジェンダーギャップ解消を目指す

Tomorrow

# ANNUAL REPORT

2025

## Tomorrowが目指す3つのゴール

Tomorrowは3つのミッションに取り組みます。

1. 起業家のジェンダーギャップを解消

2. 起業家セクハラを撲滅

3. 起業家を憧れる仕事に

# Tomorrowとは



起業家エンパワーメント団体

**Tomorrow**   
(旧スタートアップユニオン)

## ビジョン

「誰もが安心して起業できる社会をつくる」

## 設立の背景

起業家セクハラや女性起業家への投資割合がたったの2%などの深刻なジェンダーギャップ問題の背景がありました。業界構造の課題を改善し、当事者が声を上げ、支援と制度改善につなげる場をつくるために、2024年10月に当事者コミュニティを立ち上げました。問題の可視化や政策提言を通じて、起業家環境の健全化とジェンダーギャップの解消を目指す活動を展開しています。

## 名前の由来

声をあげにくい当事者が団結をする意味で、起業家は労働者ではありませんが、当初「スタートアップユニオン」として名付けました。しかし名前から活動内容を誤解されることも多く、起業家が安心して起業できる未来を残したいというメンバーの声から、未来を連想する「Tomorrow」と名付けました。

## キーワード

#安心して公正に起業できる環境を      #起業家ジェンダーギャップ  
#起業家ハラスメントゼロ                      #MYCHALLENGE\_MYCHOICE  
#何度でも起業に再挑戦できる      (被害者のキャリア再構築支援)

# 起業家の支援は文化・環境面の支援が欠けている問題

政府による財政面の支援は強化されつつあるものの、エコシステム内の文化面の成熟や多様性受容、ジェンダー観点の浸透は不十分です。今後は「資金 × 文化」の両輪でスタートアップエコシステムを成熟させることが、真の競争力強化につながります。

## スタートアップ育成5か年計画

政府は2022年にスタートアップの創出・成長を国家戦略として位置づけました。これにより、投資額の拡大や起業家支援の全体像が明確になり、政策として強力にバックアップする体制が整いました。

## 官民連携による包括的支援プログラム

官民でスタートアップを包括的に支援する「J-Startup」プログラムを展開。選定されたスタートアップは、海外展示支援、規制対応支援、国内外でのビジネスマッチング、企業ブランディングなど、多面的なサポートを受けられます。

## 海外展開とネットワーク支援

スタートアップのグローバル展開や海外資金調達の支援を強化しています。JETROの「Global Acceleration Hub」などを通じた海外メンター・現地パートナーとのネットワーク支援も進めています。

## 財政面

## 文化面

### 失敗を許容しない保守的な文化

文化的側面での障壁（リスク回避・失敗への否定的風土・多様性の不足）が依然としてスタートアップ成長の阻害要因となっているという分析がある。たとえば、日本ではリスク許容度の低さや起業文化の未成熟さがエコシステムの弱点として指摘されている。

### DEIの欠如により優秀な人材が流れ込まない

ハラスメントを経験しており、それが産業全体の信頼感低下や人材の参入を阻む要因とされています。こうした文化的な不安要素があると、特に多様な人材（女性・海外人材・中途専門家など）の流入が進みにくくなります。

### メンタルヘルスなど働き方に関する課題

ストレスや孤独感に起因するメンタルヘルスの負担が高い一方、育児や家庭との両立が極めて困難で、働き方改革やサポート体制がまだ十分に整っていないという課題が指摘されています。

## 2025年活動ハイライト

2024.12



### 相談窓口の設置

孤立しがちな被害者の声を可視化し、支援や法整備につなげます。単なる「相談受付」ではなく、業界全体の健全化と透明性向上を図ることを目的とします。

2025.03



### ロビイング活動を開始

「起業家が安心して挑戦できる環境をつくる」ため、国会議員・省庁など政策決定者に対して現場の実態と改善の必要性を伝え、法制度や政策の改革を促す意見表明・交渉の活動です。

2025.05



### グループミーティングを開催

情報共有・議論・を行い、起業家の課題解決に向け、オンライン・オフライン共に5回以上のミーティングを行いました。

2025.06



### 記者会見

業界構造上の不公正さとして捉えられるべき課題であることを社会・政策当局に訴え、改善を促す目的で記者会見を実施しました。

2025.12



### 院内集会を開催

当事者4名が登壇し、法律制定の必要性、ハラスメント音大の解消こそが起業家の活躍に繋がることを伝えました。

## 活動内容

私たちは、社会全体の仕組み・構造を変えるために、マルチセクターへの働きかけを同時並行で行う中で、以下の3つの事業を展開しています。当事者の支援や再起業を目指す社会づくりにアプローチをすることで社会全体の構造を整えていきます。

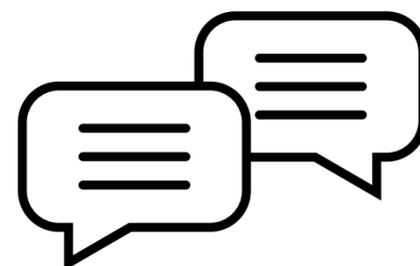
### 政策提言



ガイドラインでは成し得ない、  
現在の構造に即した法整備を要請

詳細はP7へ

### 相談窓口



ハラスメントに遭った人が  
活躍ができる本来の構造に向けて

詳細はP8へ

### 調査、セミナー



実態を調査すると共に、  
業界の現状の問題点を啓発していきます

詳細はP9へ

# 政策提言

女性起業家の多くがハラスメントを経験し、女性への投資比率や経営トップの割合が極めて低いという業界構造の問題が指摘されています。こうした現状は、起業の機会や成長の道を不当に狭めており、持続可能なスタートアップエコシステムの構築にとって深刻な障壁となっています。

Tomorrow がこれまでの活動を通じて得た知見からは、起業家のジェンダーギャップ解消には政策・制度面での対応が不可欠であるという認識が深まっています。そのため、Tomorrow は当事者の声や実態データを基に、国会議員・政府関係者との意見交換やロビイング、院内集会での問題提起を継続して行ってきました。2025年度政策課題を整理し、提言として政府・国会議員に提出しています。これらは、ハラスメントの根絶とジェンダーギャップの解消を通じて、誰もが安心して起業に挑戦できる社会の実現につながる重要な取り組みです。



## 成果

### 「男女共同参画局 女性版骨太の方針2025」への記載

2025年6月10日に内閣府が決定した「女性活躍・男女共同参画の重点方針2025」（いわゆる女性版骨太方針）において、女性起業家に対するハラスメント対策（起業家セクハラ）が政策方針として初めて明記されました。



### 「経産省がTomorrowの要望書を受け、初のスタートアップ業界の実態調査へ

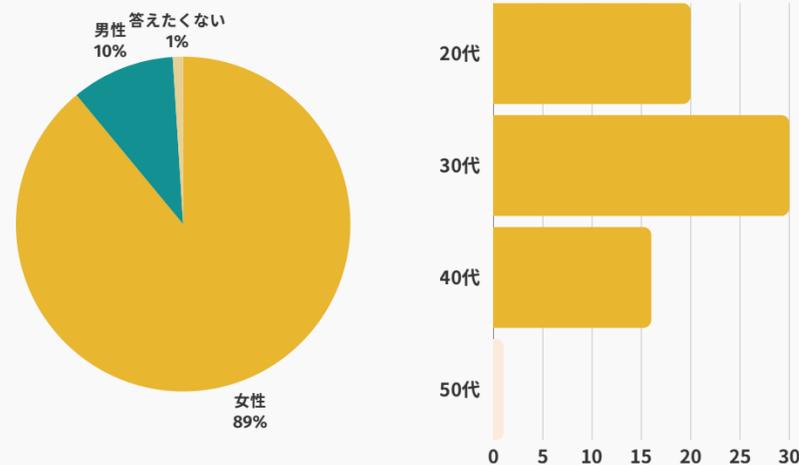
2025年3月に経済産業省を含む複数の政府機関に対して、ハラスメント防止や起業環境改善に関する要望書を提出し意見交換を行いました。この要望書提出を受け、経産省が初めてスタートアップ業界の実態把握のための調査に踏み込みました。



## 相談窓口

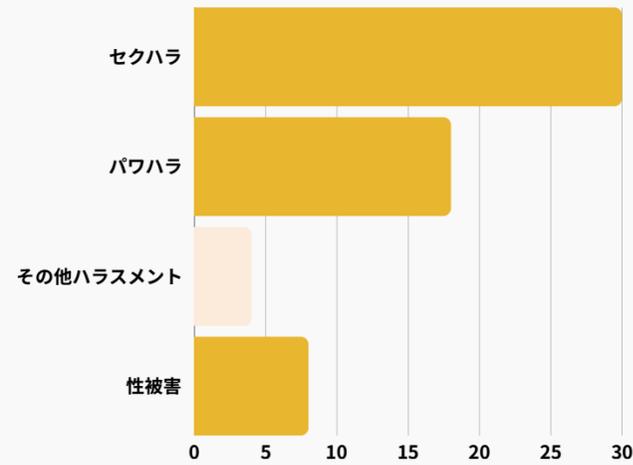
Tomorrow の相談窓口は、当事者自身が中心となって設置・運営されており、業界特有の力関係や構造的な課題の中で声を上げにくい当事者が安心して相談できる環境の整備を目指しています。弁護士や心理専門家などの専門的な支援体制を整えながら、相談を通じて得られた声・事例は、Tomorrow の他の活動（政策提言・ロビイング・院内集会等）にも生かされ、業界全体の課題解決と起業家が安心して挑戦できる環境の創出を支える重要な基盤となっています。

### 相談者属性



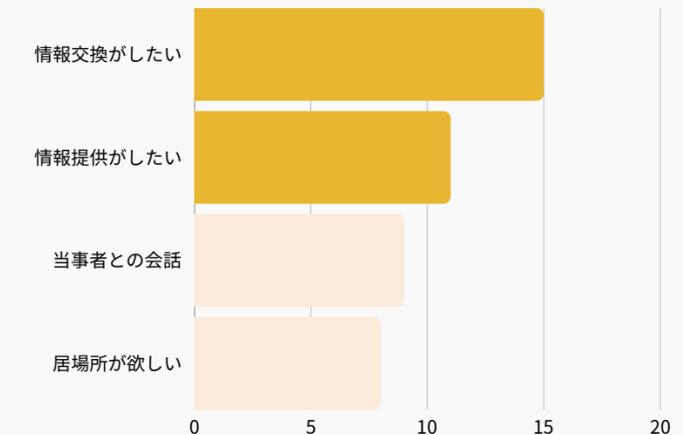
年齢層は**20代～40代**を中心に幅広い

### 相談内容



セクハラだけでなく、**セクハラ後にパワハラに発展するケース**もあり多い。  
その他、次いで性犯罪、いじめなど

### コミュニティに求めるもの



**情報交換、情報提供**が多く、次いで当事者と話したい、居場所が欲しいが多い。

※Tomorrow 調べ(Google form回答)

# セミナー／院内集会

私たちは、社会全体の仕組み・構造を変えるために、ロビイング活動を同時並行で行う上で、社会問題を認識してもらうべく、啓発活動を行なっています。

## キャリアとハラスメントに関する啓発活動

『キャリアとハラスメント』  
誰もが夢を追える社会のために私たちができること

長島美紀  
プラン・インターナショナル

白河桃子  
昭和女子大学客員教授

松阪美穂  
(社)パートナーシップ協会/  
スタートアップユニオン

PLAN  
SHOJO WOMEN'S UNIVERSITY  
STARTUPUNION

2025年5月開催  
プラン・インターナショナル 長島美紀様  
昭和女子大学 白河桃子様

## 国会議員・省庁に当事者の声を届ける院内集会

誰もが安心して起業できる社会へ  
当事者の声を国会議員に届けます!

院内集会開催のお知らせ

近年、『新卒セハラ』『フリーランスセハラ』  
「私たちが知らない差別した理由」など、多くの企業でハラスメント被害が社会問題となっています。起業家でも、最近1年以内に1人に1人がセハラを経験し、その結果、事業の縮小や撤退を余儀なくされる深刻なケースが報告されています。

こうしたハラスメント被害に加え、身体制限の就業禁止、女性活躍推進法上の就業機会確保義務、当該企業保護制度等、様々な法的保護が欠如しています。こうした不正な起業家の被害は日本の経済の発展にも大きな影響を及ぼす問題です。

また、ハラスメントは業界や雇用形態に関わらず発生しており、前例の制定は必要です。起業家の業界の声を、議員事務所からハラスメントの啓発の必要を訴えています。長官の力の発揮、ゲストスピーカーの登壇も決定してまいります。

起業家が安心して就職できる環境の実現に向け、お忙しい中とは存じますが、ご都合の良い時間帯の上り早ご出席願いますようお願い申し上げます。

日程 2025.12.18 (木)16:00~18:00  
開催場所 衆議院第一議員会館第2会議室  
参加費 無料  
※国会議員以外の方もご参加いただけます

参加のメリット  
・5,500名以上の賛同が期待されています

参加のメリット  
・参加費が無料です

起業家エンパワーメント団体  
スタートアップユニオンTomorrow  
お問い合わせ: info@startupunion.net  
HP: startupunion.net



2025年12月開催  
院内集会 衆議院第一会館  
ゲストスピーカー：伊藤和子先生

# メディア掲載

## 新聞



東京新聞様一面



毎日新聞様一面



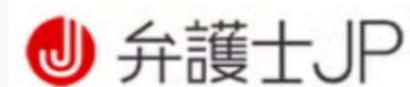
ビジネス情報サイト



## 地上波



## webメディア



## 海外メディア



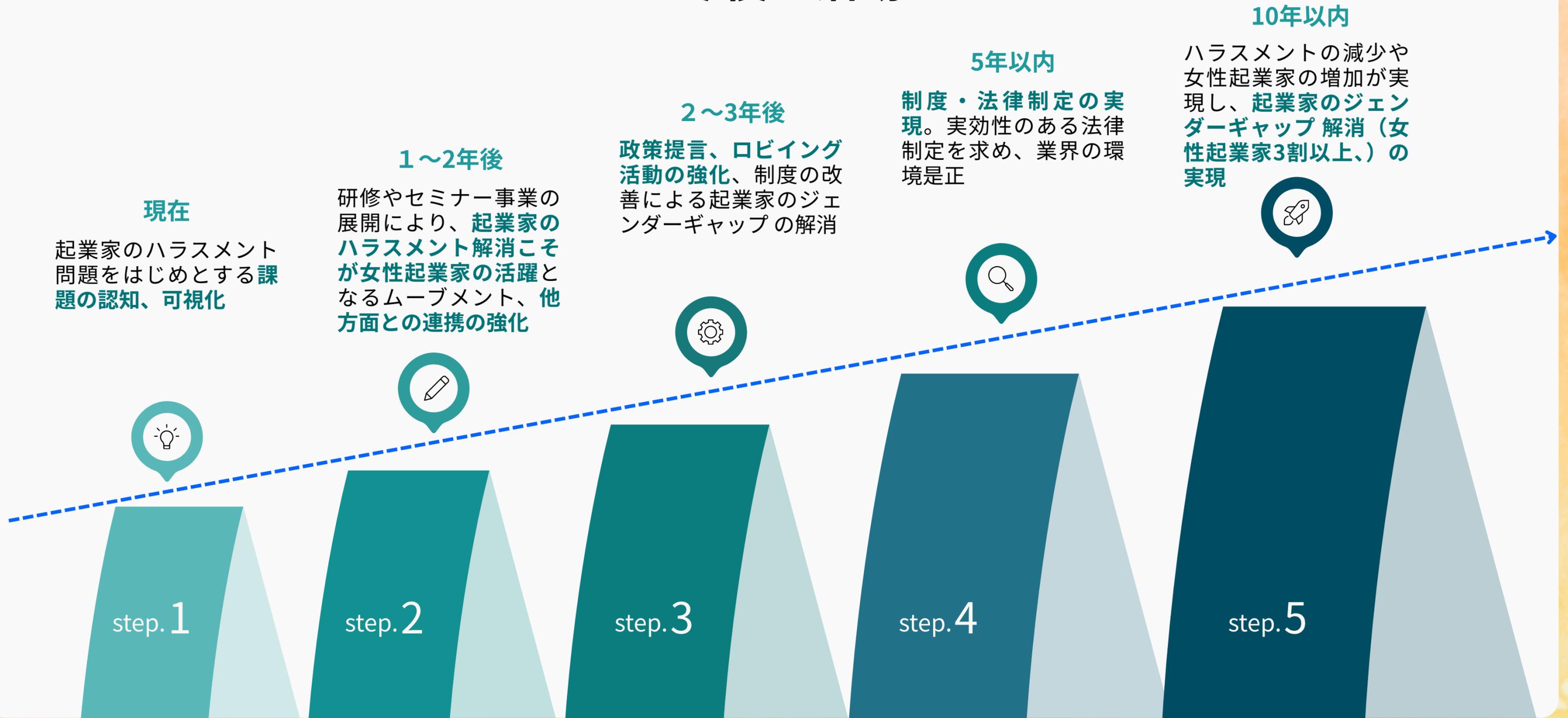
## ラジオ



他多数

総掲載数20件以上 ※詳細はHPよりご覧ください

# 今後の活動



## 団体概要

- 住 所 〒107-0062 東京都港区南青山2-2
- お問い合わせ先 [info@startupunion.net](mailto:info@startupunion.net)
- 公式ウェブサイト <https://www.startupunion.net>



Instagram



X



## ご支援について

Tomorrowの活動は、皆さまからのあたたかいご支援によって支えられています。ぜひ、継続的なご支援を賜れば幸いです。



[info@partner-ship.net](mailto:info@partner-ship.net)

